

令和7年度入学 一般選抜前期日程

論説 講評

我が国の離島における地域活性化を題材にした問題である。資料として、我が国の離島の概要、関係人口に関する文章やデータ、ある離島の人口動態などのデータ、かつて流罪で島に送られた流人と島民の関わりについての文章、仮想の離島でフィールドワークをしたメンバーの会話文などを提示した。これらの資料に示されている情報や事象を読み取り、簡潔かつ的確に文章化する力、一定の条件下で課題解決への道筋を考察し、論述する力をみることを主な目的とした。

問1

【出題のねらい】

(1) は、我が国の離島に関する解説資料から、自然的特性と文化的特性に由来する役割を読み取る問いである。(2) は、関係人口という用語の認知度と理解度、および関係人口として関わりを持っている地域の有無との関係性について読み取る問いである。(3) は、ある離島の人口動態を表したグラフ、離島の出来事の年表などから、居住意向を巡る課題について読み取る問いである。いずれも、与えられた資料から注目する事象や情報を的確に把握する力、把握した事柄を簡潔に記述する力を評価した。

【講評】

(1) の解答状況はおおむね良好であったが、2つの特性を混同した文章が散見され、減点対象となった。(2) では、グラフの解釈が不十分な解答が散見された。データを部分的に読み取るのではなく、全体的な傾向を抽出する力が必要であった。(3) の解答状況はあまり良くなかった。グラフの読み取りでは、棒グラフと線グラフの情報の混同や、断片的な情報の読み取りなどが散見された。居住意向を巡る課題の解答では、資料の読み取りを求めているにもかかわらず、主観的な主張を述べている解答も多くみられた。

問2

【出題のねらい】

(1) は、資料中にある事例を端的にまとめて解説することを、(2) は、2つの事例を比較し、異なる点を説明することを求めた問いである。登場人物の立場や境遇を理解することを通じて、流罪で島に送られた流人と島民の関わりについて論理的に説明する力をみた。

【講評】

(1) の解答状況はおおむね良好であった。流人が島に与えた影響については解答できている受験

者が多かったが、総論に触れないまま細部に注目した解答は減点対象となった。(2)の解答状況はあまり良好ではなかった。2つの資料からの情報抽出まではできているが、その情報を整理し、異なる点を明確に言語化できている解答は極めて少なかった。複数の情報が含まれた文章の読み取りを行う力を身に付けてほしい。

問3

【出題のねらい】

指定した条件の下で、ある離島の関係人口を増加させるための提案を求めた。先行してフィールドワークを実施したメンバーからの情報に基づいてその離島の課題を抽出し、さらに別の資料で与えた複数の視点をふまえながら、課題解決に導く力をみた。

【講評】

解答状況はあまり良くなかった。この問いでは、資料で与えた5つの視点をふまえたうえで提案することを求めたが、資料の語句を断片的に引用するだけで、論拠が明確ではない解答が散見された。また、関係人口の定義を理解しないまま、単に離島の人口増加のための提案をした解答が多く、これらについては出題趣旨に即していない解答であるとみなした。同様に、与えられた視点をふまえず、独自の視点で提案をしている解答は大幅な減点となった。なお全体的に、資料で示した離島の現状からかけ離れた非現実的な提案が多かったことも気掛かりである。限られた資料から、その離島のおかれている状況を理解し、提案を実現させるためのプロセスを検討し、実現可能性についても洞察する力が必要であり、加えてそれらを論述する力が必要であった。課題解決に必要な力は、必ずしも目新しいものを構想する力ではない。客観的な情報に基づいて構想を行う力は、本学の学びを進めるうえで不可欠である。